

もりんぴあこうづ開館 10 周年記念特別公演「葉っぱのフレディ」上演！

2023 年のゴールデンウィークの最終日である 5 月 7 日に MORI×MORI ホールでのちのまつわる音楽劇「葉っぱのフレディ」を上演しました。

MORI×MORI ホールで「葉っぱのフレディ」が行われるのは実は 2 回目となります。平成 28 年度に演劇ワークショップの演題として、小学生 9 名と 1 名の大人により上演され、半年にわたる練習の成果として披露されました。

そして今回は、もりんぴあこうづ開館 10 周年を記念事業として、音楽家としてだけではなく、ドラマや映画で活躍の宇崎童童さんを語りに迎えました。また、井上鑑さん(シンセサイザー)と徳川眞弓さん(ピアノ)による演奏が宇崎さんの語りに花をそえてくださいました。

井上鑑さんといえば、ピンクレディーの楽曲と全国ツアーにキーボードとして参加した他、寺尾聰さんの『ルビーの指環』の編曲や大滝詠一さんや福山雅治さんのアレンジなど数々の楽曲でお名前を見かけます。徳川眞弓さんは、東京藝術大学卒業、海外留学などを経て、日本各地でソロ・リサイタルをはじめ室内楽・伴奏など様々な演奏活動を展開しており、松戸市ではコンサート・コーディネーターを務めたり、CW ニコル氏とともに東日本大震災のチャリティリサイタルを開催したりするなど多方面で活躍されています。

第 1 部では、井上さんと徳川さんによる「音楽の森で遊ぶ」をテーマにした演奏が行われ、カタルーニャ民謡やドビュッシー、グルダとクラシック音楽が演奏された他、ビートルズのノルウェーの森、福山雅治さんのクスノキ、この木なんの木にクラシックのアレンジをくわえた変奏曲も演奏されました。

第 2 部では、宇崎さんが登場し葉っぱのフレディの物語がスタート。宇崎さんの洪さの中にも温かみのある語り口調に観客は惹きつけられ、場面転換のように井上さんと徳川さんの演奏も物語に花をそえています。春に生まれた葉っぱが、夏に大きく成長し、秋には色をかえ紅葉し、冬には枯れて死んでいくが、次の春にはまた生まれるという生命の循環をおよそ 50 分に公演にて観客に伝えました。公演後のアンケートでは、「感動した」や「素敵だった」など、3 名の作り上げる世界観に称賛のお言葉をたくさん頂きました。

アンコールでは、ちょっとしたトークショーのような感じで、最近のライブ活動や今後の予定が話されました。途中、徳川さんから「宇崎さんと言えば、あの有名なセリフですよね？聞きたくないですか？」と振られると、宇崎さんは「誰かサングラス持ってないですか？」と観客からサングラスを借り放った決めゼリフに観客からはその日一番の拍手が送られました。最後に第 1 部で演奏された「鳥の歌」に宇崎さんの語りを加えたバージョンが披露され、幕を閉じました。



風化させてはいけない東日本大震災

3 月 11 日で、東日本大震災発生から丸 12 年が経ちました。しかし今でも、立ち入りが原則禁止され、居住を制限するとされている「帰還困難区域」があります。避難指示が解除されても、それはゴールではなく、復興に向けた新たなスタートになります。そんなスタートを少しでも手助け出来たらと思いついたのが、「復興支援 week」です。その主旨に賛同頂き、出演者の幅も広がり、7 回目を迎えました。

ギャラリー MORI×MORI では、12 日間にわたり成田市や成田赤十字病院など各団体の活動の様子を記録したパネルの展示や石巻市の漁師 齋藤富嗣さんの体験を描いた「トミジの海」の絵本原画パネルの展示が行われました。また、復興を祈念する書道作品も展示されました。



MORI×MORI ホールでは 2 日間にわたり「杜の音楽祭」が行われ、2 日目の第 1 部では「光のとびら」が行われました。杜の音楽祭では、地域の演奏家たちがピアノを中心にエレクトーン、フルート、オカリナ、チェロ、ハンド・パン、三線といった様々な楽器の演奏を披露しました。

光のとびらでは当初、赤松クニユキさんの予定でしたが体調不良により出演を見送り、情家みえさん(ヴォーカル)と阿部瑠美さん(ピアノ)がピンチヒッターを務めました。お 2 人によるムードあふれるジャズナンバーは、会場に訪れた人を魅了していました。



図書館だより

なかよしひろばだより

ガイドブックは図書館にお任せ

新緑の美しい季節になりましたね。感染症関連の規制も緩和され、皆さん色々な場所へ出かけることが増えてきたのではないのでしょうか。図書館では国内外問わず旅行のガイドブックを揃えています。お出かけの前に是非図書館へ足を運んでみてください。

また、もしお求めの本が見つけれなかったり、どんな本があるかわからなかったりした時はお気軽に本の相談へいらっしやってください。司書があなたの本選びをお手伝いします。



もりんぴあこうづに響き渡る歌声

現在、公津の杜コミュニティセンターでは3つの歌にまつわる事業が進行中です。

1つ目は、「成田市杜の少年少女合唱団」です。成田市とその近郊にお住まいの8才から17才が対象の合唱団で月2回の練習で、セタコンサートやクリスマスミュージックフェスタなどのイベントでの発表を目指します。

2つ目は、「もりんぴあ合唱部」です。毎月第2金曜日に練習を行い、運動の代替えに参加している方も多く、老若男女問わず参加できます。

3つ目は、「歌おう♪第九 in NARITA」です。こちらは開館10周年記念事業として開催。2024年3月の記念公演を目指して練習していきます。開館から10年、入館者は170万人を超え、たくさんの方々に利用して頂ける喜びと以降の発展を願って、ベートーヴェンの第九(歓喜の歌)をドイツ語で歌いあげます。およそ80名による歌声は大迫力になるであろうと想像が付き、今から楽しみでなりません。

「成田市杜の少年少女合唱団」と「もりんぴあ合唱部」は年度途中からの参加も受け付けています。歌好きの方大歓迎。



7月でなかよしひろばも10周年です!

2013年7月1日になかよしひろばがオープンして、はや10年になろうとしています。オープンした時には赤ちゃんだった子ども、もう小学校4年生…月日の経つのは本当に早いものです。

10周年をむかえるにあたり、7月、8月、9月のお便りに皆さんのひろばの思い出などを掲載したいと思います。

内容：ひろばの思い出など(500字以内)

締切：7月号…6月20日

8月号…7月20日

9月号…8月20日

現在ひろばを利用している方だけでなく、卒業したり、ご無沙汰している方の応募も大歓迎です。また、保護者だけでなくお子さんからの原稿も募集します。皆さまからのたくさんのご応募お待ちしております! 詳しくは公津の杜なかよしひろばまでお問い合わせ下さい。



← おもいで
フォト

オープン間もない頃のイベントの様子。床が今とは違うのがわかりますか?

おまけの1枚



ボランティアの方々により屋上庭園と駐車場の入口脇の花壇が整備されました。雑草を取り除き、季節にあった草花を植えて頂いています。毎月第2木曜日に活動を行っているので、興味のある方はスタッフまでお声がけください。見学も歓迎。

編集後記

コンサートにおける声出しが解禁されてきました。コロナ禍以前は、近くの観客の歌声が大きく、歌手の歌声に集中出来ないということが多々あったので、声出し禁止が継続される事は個人的に歓迎していました。ただ、コール&レスポンスがないと寂しい。そこだけの解禁がよかったな(笑)(K)

WBC2023で3/22に侍ジャパンがアメリカチームを破り見事優勝を果たし、日本中が歓喜の渦に包まれたことはまだまだ記憶に新しいことと思います。我々に勇気と感動を与えてくれ、コロナの収束にも一役買ってくれたと勝手に思っています(笑)納得の紫綬褒章受章です! 新型コロナが5類に移行し、多くの明るい話題で国内がにぎわう事を祈念し乾杯!(T)

公津の杜コミュニティセンター

(指定管理者 アクティオ株式会社)

発行人: 竹尾 裕之 編集: 鹿嶋 聡明

〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地

TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353

E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ
こうづ
Morinpia Kozu